

北九州商工会議所 経営動向調査結果(令和元年度第2四半期)

主要3項目すべてが下降

今後、米中貿易摩擦、日韓関係悪化の影響を懸念

【調査機関】北九州商工会議所
 【調査期間】令和元年8月26日～9月13日
 【参考】調査開始日(8/26)の株式及び外国為替市況
 日経平均株価終値20,261円04銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値106円12銭
 【回答数】451社(製造業94社・非製造業357社)
 【調査方法】郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式

本件に関するお問い合わせは、
北九州商工会議所 産業振興課
(TEL:541-0185)

概況

【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】 主要3項目すべて下降。次期も主要3項目すべて下降を予測。

【業種別】 業況判断はサービス業が横ばいも、すべての業種でマイナス水準。売上高、経常利益はサービス業、建設業が改善するもすべての業種でマイナス水準。

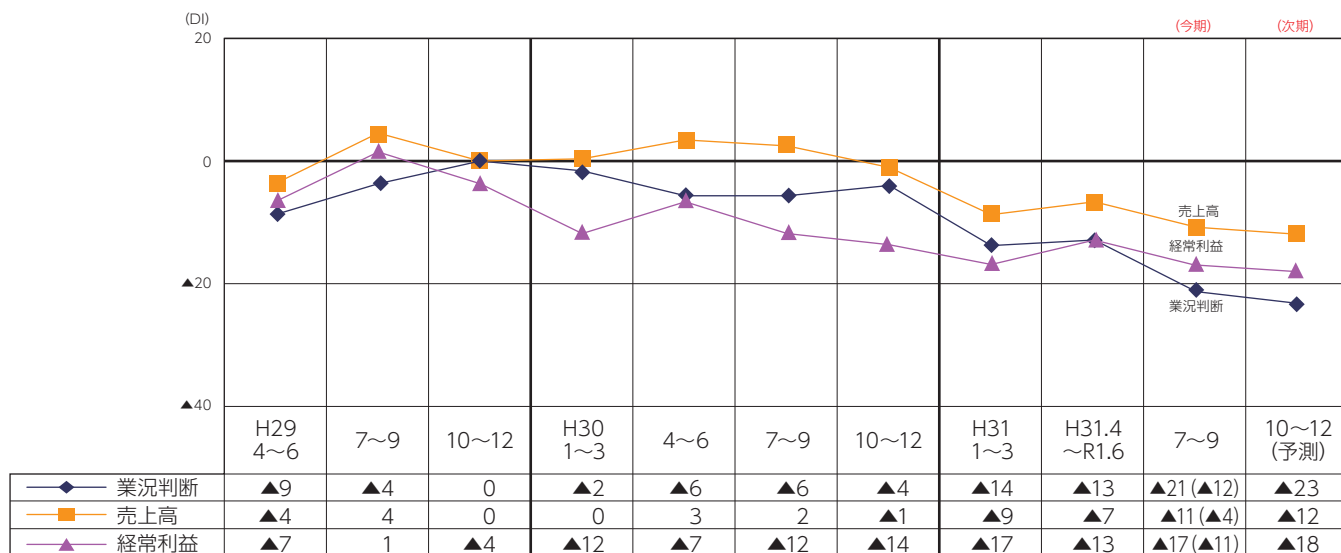
【規模別】 業況判断、経常利益ともにすべての規模で下降。売上高は大規模企業のみプラス水準。

※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。
 ※文章中の規模は中小企業基本法に基づく(大規模→大企業、中規模→中小企業、小規模→小規模企業者)

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

< 今期実績 > (7-9 月期) 主要 3 項目すべて下降。

< 次期予測 > (10-12 月期) 主要 3 項目すべて下降を予測。

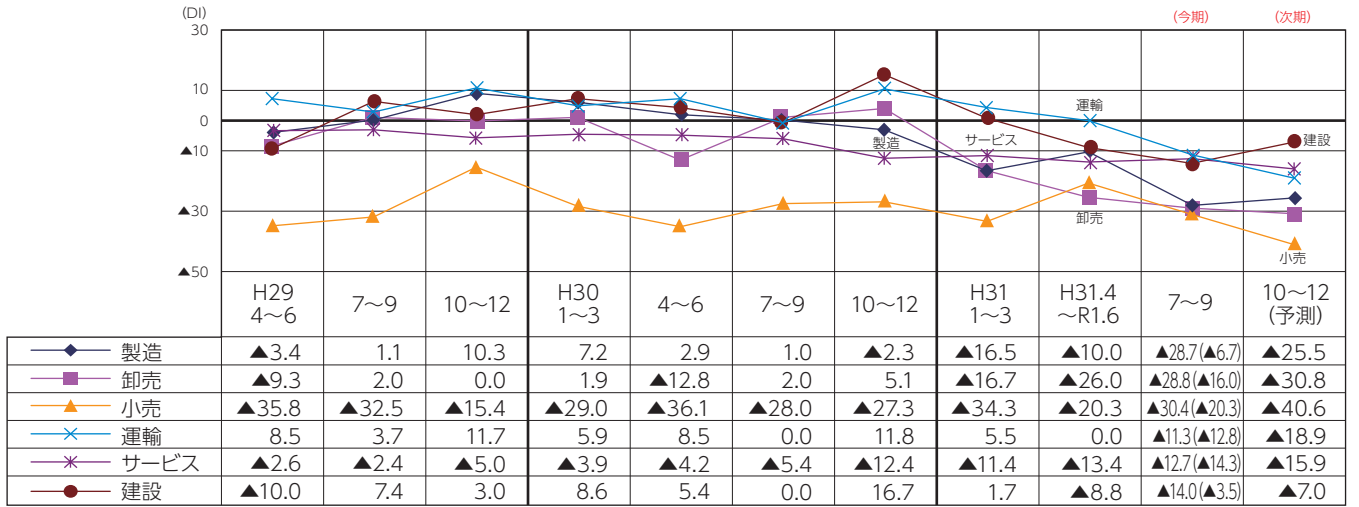


※()内の数字は6月調査時の予測

業種別

業況判断DI

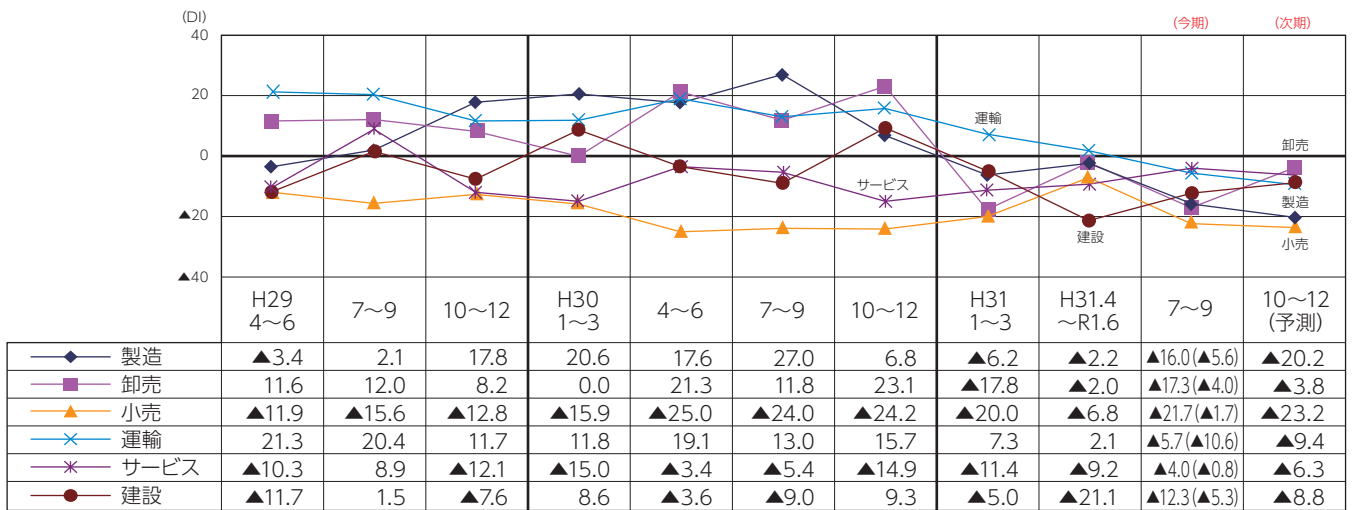
< 今期実績 > (7-9 月期) サービス業のみ横ばいもすべての業種でマイナス水準。運輸業は 10 期ぶりにマイナス水準。
 < 次期予測 > (10-12 月期) すべての業種でマイナス水準を予測。



※ () 内の数字は6月調査時の予測

売上高DI

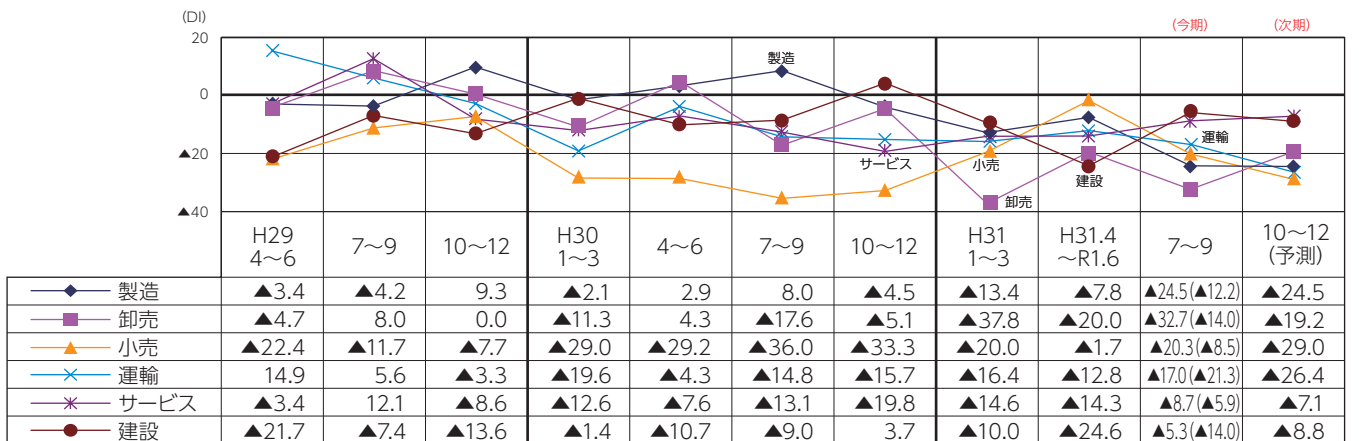
< 今期実績 > (7-9 月期) サービス業、建設業は改善するもすべての業種でマイナス水準。運輸業は 10 期ぶりにマイナス水準。
 < 次期予測 > (10-12 月期) すべての業種でマイナス水準を予測。



※ () 内の数字は6月調査時の予測

経常利益DI

< 今期実績 > (7-9 月期) サービス業、建設業は改善するも、3 期連続すべての業種がマイナス水準。
 < 次期予測 > (10-12 月期) すべての業種でマイナス水準を予測。



※ () 内の数字は6月調査時の予測

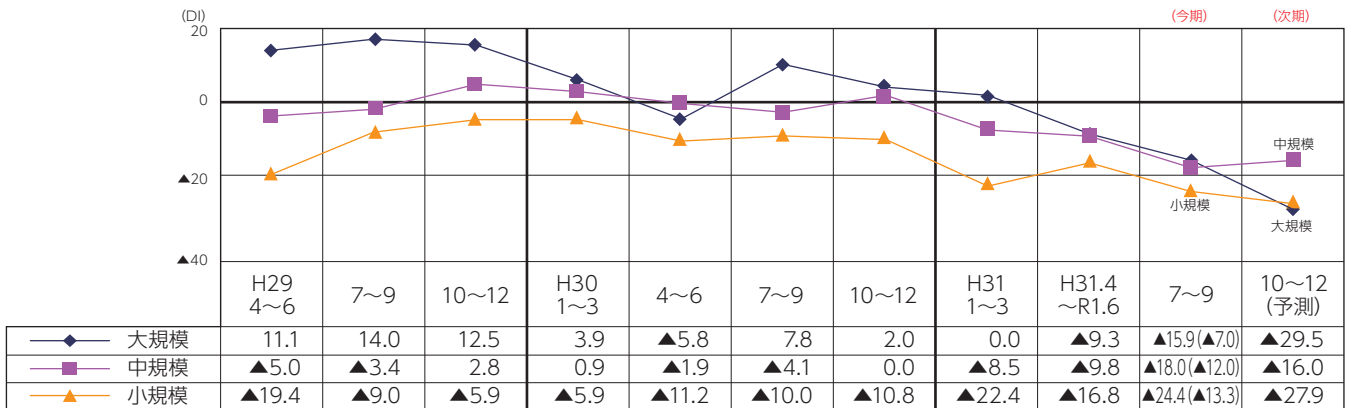


規模別

業況判断DI

< 今期実績 > (7-9 月期) すべての規模で下降。

< 次期予測 > (10-12 月期) 中規模企業が改善を予測するも、すべての規模でマイナス水準を予測。

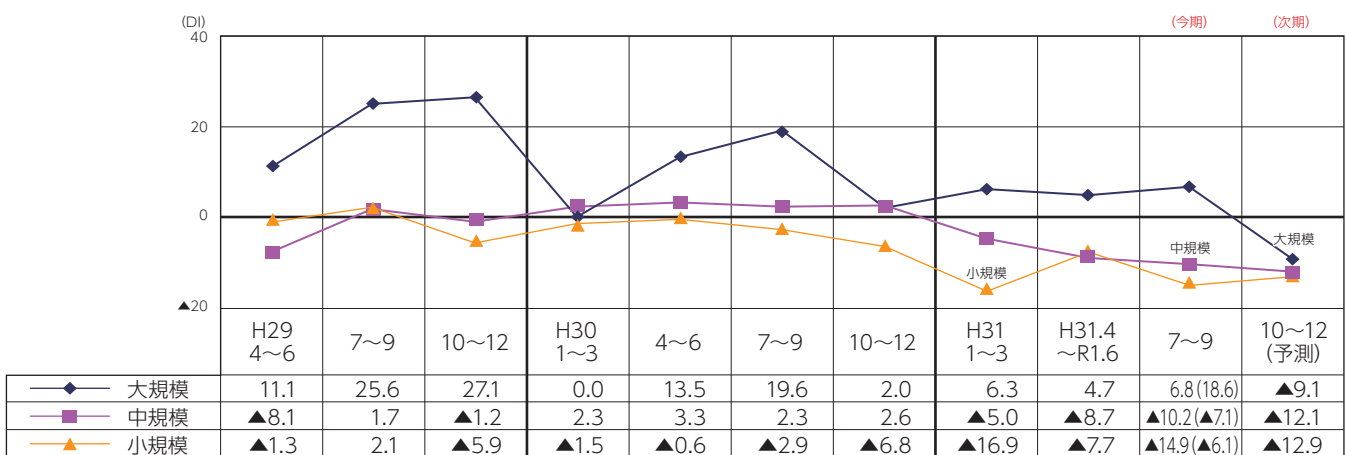


※()内の数字は6月調査時の予測

売上高DI

< 今期実績 > (7-9 月期) 大規模企業のみプラス水準。中規模、小規模企業は下降。

< 次期予測 > (10-12 月期) 小規模企業が改善を予測するも、すべての規模でマイナス水準を予測。

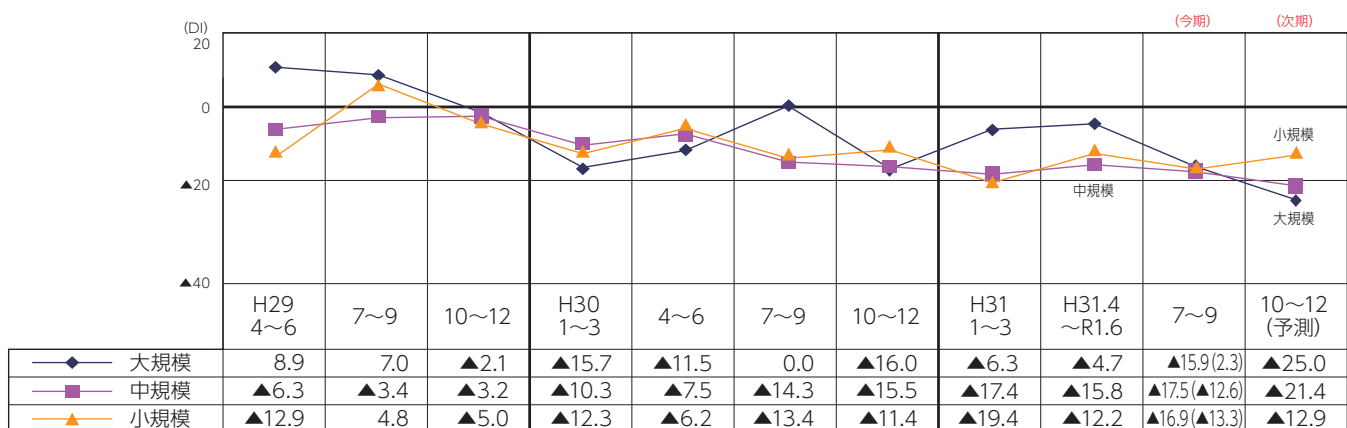


※()内の数字は6月調査時の予測

経常利益DI

< 今期実績 > (7-9 月期) すべての規模で下降。

< 次期予測 > (10-12 月期) 小規模企業が改善を予測するも、すべての規模でマイナス水準を予測。



※()内の数字は6月調査時の予測

その他項目DIの動向

	H29年	H30年					H31年	R1年	
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	H31年4~R1年6	7~9	10~12(予測)
①販売価格・受注単価(「上昇」-「下降」)	1.8	5.2	8.7	10.3	4.6	4.3	3.3	2.9	1.8
②資金繰り(「楽」-「苦しい」)	7.4	7.7	6.7	7.3	6.2	7.0	9.0	7.1	5.9
③借入難易度(「容易」-「困難」)	25.1	24.3	24.7	24.2	22.2	23.8	24.0	23.2	22.0
④設備投資(「増加」-「減少」)	1.2	2.8	9.0	6.1	2.1	▲2.2	▲1.1	1.6	▲0.6
⑤雇用(「過剰」-「不足」)	▲46.8	▲48.2	▲45.2	▲47.4	▲48.2	▲50.9	▲46.3	▲44.1	▲43.6
⑥在庫(「過剰」-「不足」)	0.5	6.1	6.8	5.3	9.5	4.8	7.4	8.8	5.5
⑦所定外労働時間(「増加」-「減少」)	5.9	7.7	▲1.1	▲0.5	2.8	▲4.3	▲9.8	▲14.3	▲12.2

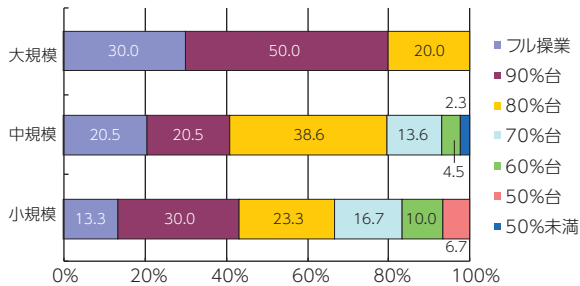
①「販売価格・受注単価」……大きな変化なし。次期も減少予測
 ②「資金繰り」……前期から減少。次期も減少予測
 ③「借入難易度」……大きな変化なし

④「設備投資」……3期ぶりに増加。次期はマイナス水準予想
 ⑤「雇用」……人手不足感の高い状況が続いている
 ⑥「在庫」(製造業・卸売業・小売業のみ回答)……前期から増加。次期は減少予測

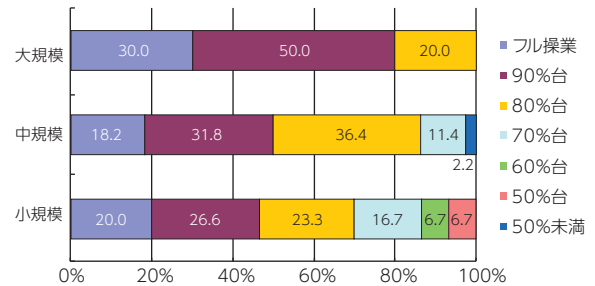
⑦「所定外労働時間」……大幅に減少。次期もマイナス水準予測

製造業操業度

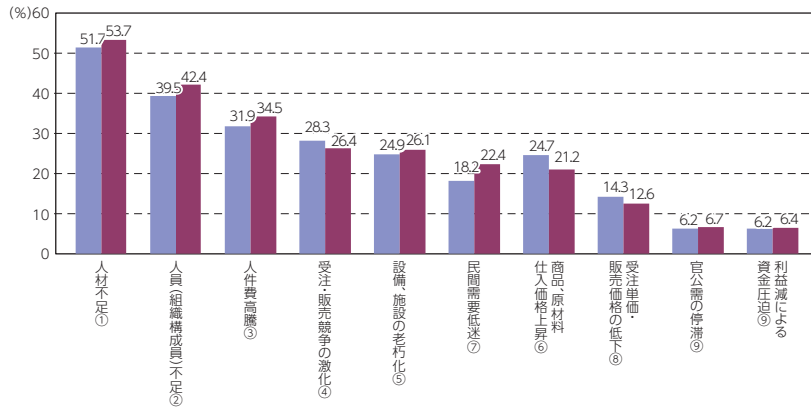
7~9月期(実績)



10~12月期(予測)



経営上の問題点上位10項目(複数回答)



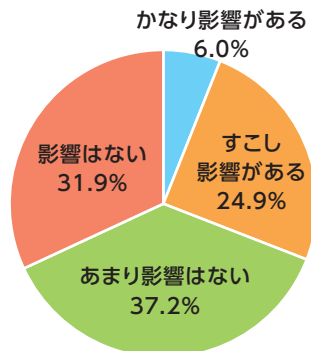
【企業の声】

- 衣料品などはネットでの購入が増え、業界全体としては厳しい経営環境にある【小売業(デパート・スーパー)大規模】
- 消費税増税に伴う駆け込み需要が見込まれ売上げが増加する分、10月以降の反動を懸念している【小売業(医薬品・化粧品)大規模】
- 昨年に比べ梅雨明けが遅く、アパレル関係が不調【サービス業(その他のサービス業)大規模】
- キャッシュレス決済の利用者が増加。便利と好評【運輸業(旅客運送)中規模】
- 以前はお盆休みの時期に工場改修工事などを行うことが多かったが、今年はそのような受注が少なかった【卸売業(金属製品・機械器具)小規模】
- 消費税率引き上げ前の駆け込み需要がそれほど多くなく、引き上げ後にどんな影響が出るのか読めない【製造業(建材・木・紙製品)小規模】
- 気象状況の変動によって、客足が少なくなっている【小売業(その他の小売業)小規模】
- 消費税増税に伴い、レジの買い替えが必要【小売業(その他の小売業)小規模】
- 大雨により収穫が出ず、2カ月後は青果の価格が高騰する予想【卸売業(その他の卸売業)小規模】

※項目の後の数字は前回調査結果の順位

【付帯調査】昨今の国際情勢(日韓、米中)について

昨今の国際情勢が経営に影響を与えていますか



「かなり影響がある」「すこし影響がある」と回答した企業は30.9%となった。「あまり影響はない」「影響はない」と回答した企業は69.1%となり、影響がない企業の割合が多い結果となった。

【企業の声】

- 米中・日韓の貿易摩擦により荷動きが鈍くなっている【運輸業(海運業)大規模】
- 今後、韓国人観光客減少の影響が出ると予想される【小売業(デパート・スーパー)中規模】
- 米中貿易摩擦による中国への鉄の輸出減少によるもの大きい【運輸業(海運業)中規模】
- 米中の貿易摩擦が日本の景気減速に大きな影響を与えると考える【卸売業(その他の卸売業)小規模】